

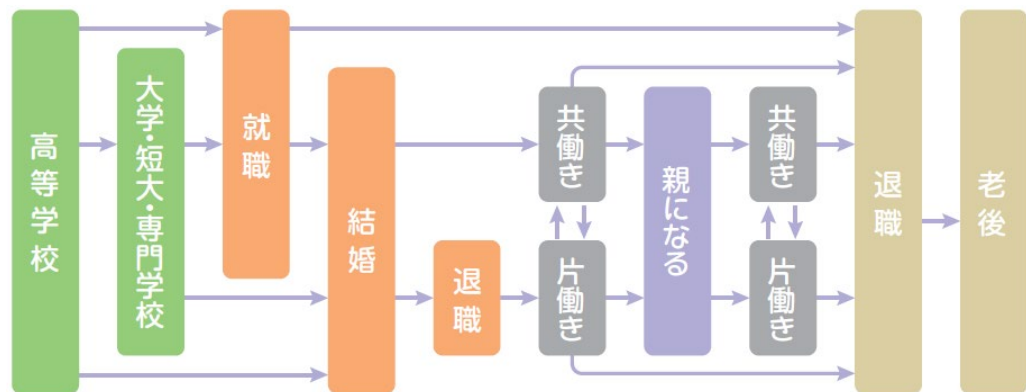
年 組 番 名前

1. 生活設計とお金

[1] 将来を考える

生活設計とは、自分の将来について こと。

[2] さまざまなライフコース



[3] ライフイベントとそれにかかる費用

	自分の解答	正解
問題① 結婚にかかる費用 *リクルート「ゼクシィ結婚トレンド調査2023」調べ	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
問題② 新築の土地付き注文住宅の購入費用 *住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」(2022年度)	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
問題③ 子ども一人にかかる教育費 *文部科学省「子供の学習費調査」(令和3年度)「私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」(令和3年度)	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

[4] まとめ

と は、セットで考える必要がある。

2. リスクへの備え

[1] リスクとは何か

普段の生活の中でどんなリスクがあるか考えてみよう。

[2] 生活設計に影響のある重大なリスク

<参考データ>

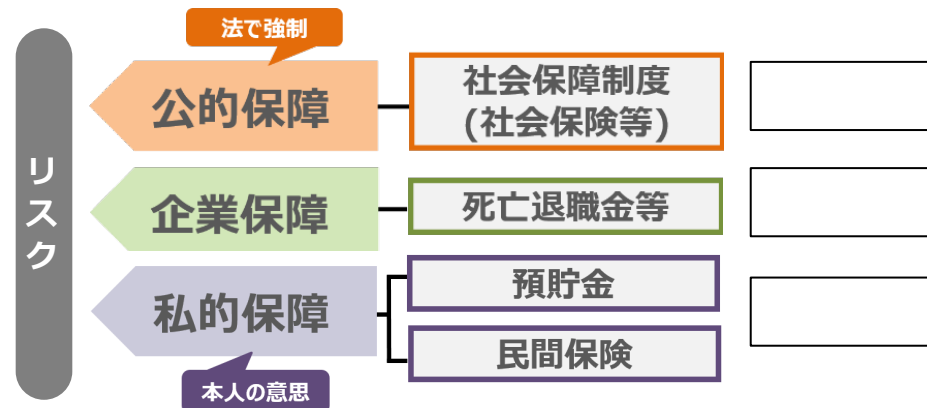
A 交通事故の年間発生件数 300,839件
*警察庁「交通事故発生状況」(令和4年) → 約 秒に1件

B 1日平均新入院患者数 41,155人
*厚生労働省「医療施設(動態)調査・病院報告」(令和4年) → 約 秒に1人

C 65歳までに亡くなる人の割合
*厚生労働省「簡易生命表」(令和4年) → 男性: 約 人に1人

女性: 約 人に1人

[3] リスクに備える3つの保障 ※保障: もしものときに生活を守るもの



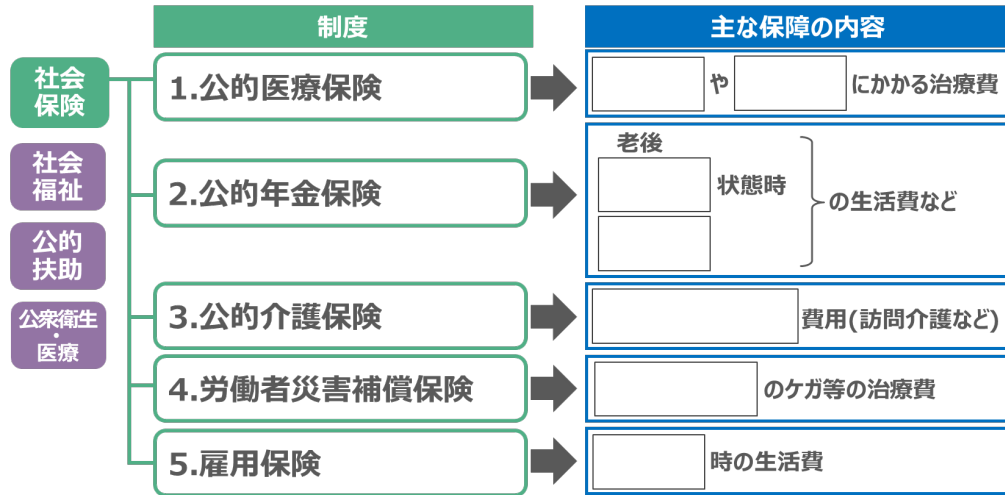
[4] まとめ

リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。

と **企業保障** で不足する部分を で補う。

3. 公的保障と私的保障

[1] 社会保障制度の概要



(発展課題) 困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう

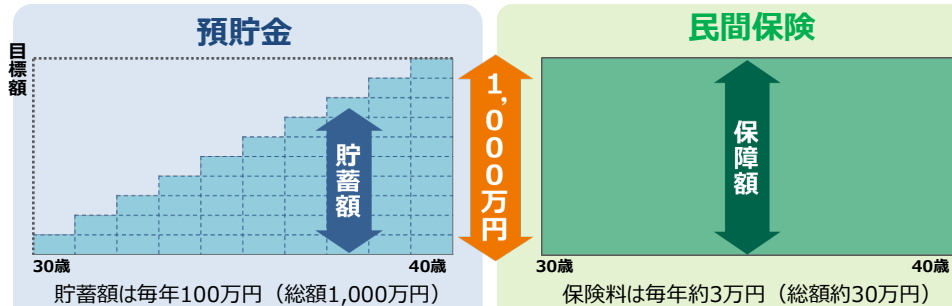
状況

制度

- 定年退職して老後の収入が無くなった
- 会社が倒産し、失業した
- 介護が必要な状態になった
- 一家の働き手が交通事故で亡くなった
- 病気で入院した
- 社員が仕事でケガをした

- 公的医療保険
- 公的年金保険
- 公的介護保険
- 労働者災害補償保険
- 雇用保険

[2] 預貯金と民間保険



特徴 目的のために貯める

- メリット
- 貯めたお金は自由に使うことができる。
 - 途中で引き出しや貯めるペースが自由。
 - 預けた金額に応じて利子がつく

デメリット ●途中で病気やケガ等、リスクが発生した場合に、 金額が貯まっているとは限らない。

特徴 の損失に備える

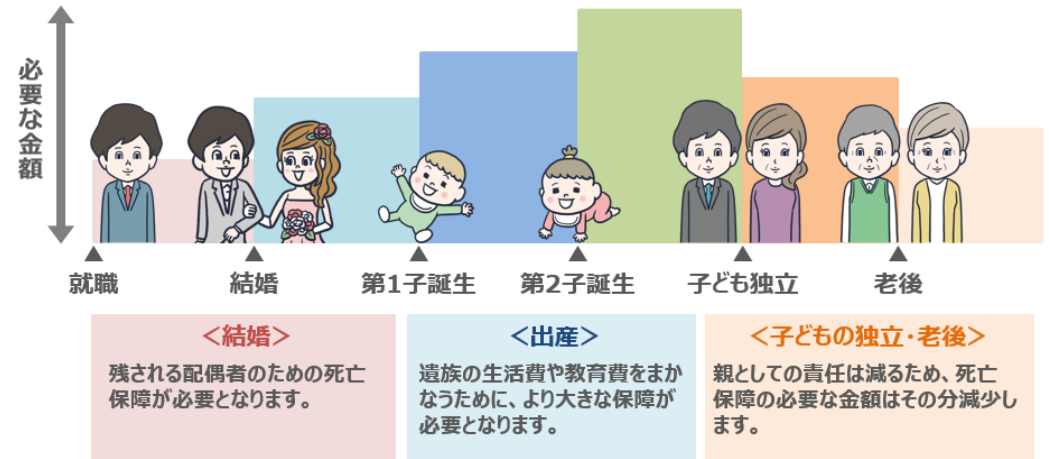
- 途中でいつでも、病気やケガ等のリスクが発生した場合に、あらかじめ 金額を受け取ることができる。

●保険の種類によっては解約しても支払った保険料の全額が戻ってこない。

[3] 生命保険と損害保険

	生命保険	損害保険
対象	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受取額	あらかじめ約束した金額(定額給付)	事故により発生した損害額(実損填補) <small>じっそんてんぽ</small>
備えられるリスク	●死亡 ●病気・ケガ ●老後 ●介護 など	●交通事故 ●火事 ●台風や地震 など

[4] ライフステージによる必要な保障の違い



[5] まとめ

家族構成や年齢によって必要な保障は異なる。

に応じて、リスクへの備えを考えよう。

●今日学んだことや気づいたことについて書いてみよう

.....

.....

.....

.....

.....